

(1)基本構想(素案4)について(意見メモ)

番号	意見・質問	委員氏名
	(なし)	

(2)新たな長期基本計画に盛り込むべき施策のあり方(素案)について  
(意見メモ)

1.水と緑豊かな地球環境にやさしいまち		
番号	意見・質問	委員氏名
1	2頁 身近な緑の育成<現状と課題>では、「公園など新たな公共施設整備による緑地の確保は困難」であるとしていますが、開発中の南部地域をはじめ既成市街地においても、緑化推進とあわせて防災対策上も高層マンション建設による人口増にふさわしい公園確保が必要と考えます。具体的施策においても公園建設を区の課題として入れるべきではないでしょうか。	菊池委員
2.未来を担うこどもを育むまち		
番号	意見・質問	委員氏名
2	7頁 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成<現状と課題>の2行目「国や都の学力調査の結果において…」と江東区の評価を記述していますが、この記述は削除すべきと思います。全体の平均値である学力テストの点数値の結果のみを他の自治体と比較することは、生徒一人一人の健全な発達・育成をめざすという教育の本質を見誤ることにつながると思いますので。	菊池委員
3	7～8頁 安心して通える楽しい学校づくりの推進では<施策の方向>として「少人数学級の導入の検討」を入れていただきたい。学級規模を小さくすることは、いまや東京都を除く全道府県で何らかの形で導入され、学力の向上はじめ不登校やいじめなど生活指導面でも、障害児教育の面でも効果が高いと評価されています。	菊池委員
3.区民の力で築く元気に輝くまち		
番号	意見・質問	委員氏名
4	14頁 安心できる消費生活の実現では<現状と課題>で「食の安全」について記述されていますが、具体的な施策の方向が見えないように思います。区内の食品事業者に対し生産現場での安全性確保への努力、地産地消の取り組み、保健所による検査体制の整備拡充などの取組強化が必要ではないでしょうか。	菊池委員
4.ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち		
番号	意見・質問	委員氏名
	(なし)	
5.住みよさを実感できる世界に誇れるまち		
番号	意見・質問	委員氏名
5	25頁 住みよい住宅・住環境の形成 <現状と課題>では、住まいがあっても家賃の値上げで住み続けられない状況が進んでいることや、公営住宅への申し込みが百倍を超えるなど住宅の確保ができない現状をきちんと記述し、<施策の方向>として、賃貸住宅への家賃助成や「住宅の質の向上」を担保する公営住宅の建設に取り組むべきとおもいます。	菊池委員
5.基本構想の実現のために		
番号	意見・質問	委員氏名
6	30頁 スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営の<現状と課題>について、憲法に定められた基礎的自治体の役割は変わるものではないので、「住民の福祉の増進」のために仕事を進めることを明確に打ち出すべきと思います。	菊池委員

(3) 江東区の将来像について(意見メモ)

番号	意見・質問	委員氏名
	(なし)	

(4) 第9回江東区基本構想審議会小委員会(9/12)における主な発言

1. 「中間のまとめ」について		
番号	意見・質問	委員氏名
1	「区民と区がともに責任をもって江東区をつくります」の「ともに」を責任のあとに持ってきてはどうかという提案があったがどうか。	青山委員長
2	「責任もてる」という表現に変えるべきという提案もあったが、意味合いが大きく変わってしまうので「責任をもって」という表現の代わりになるものではないと考えている。	小川委員
3	私も同感である。小委員会の議論の結果としても、原案どおりで了承ということでよいか。(了承)	青山委員長
2. 新たな長期基本計画に盛り込むべき施策のあり方について		
番号	意見・質問	委員氏名
4	施策のあり方に関する議論を聞いていて感じたのは、施策のあり方の体系(枝)の選び方は既定であり、議論の必要はないのか。	苦瀬委員
5	基本構想のレベルの内容が施策のあり方の見出しで代表されているのか疑問のある部分がある。例えば、基本構想の9ページ「健康で安心して生活できる保健・医療体制の充実」の内容が医療・保健に偏りすぎている気がする。	苦瀬委員
6	施策のあり方は、具体的な事業まで記載しないとしても、江東区の施策の実効性を担保する第一段階となる答申であるのでかなり検討が必要だと思う。 例えば、15ページの「コミュニティの活性化」についてであるが、江東区では集合住宅の調査を大々的に行っているという話を聞いている。そういうことをやっているのであれば、集合住宅は自治会の機能が低いと指摘されているところであるので、もう少し施策の方向で触れておいてよいと思う。 現在、各部署で実際に取り組んでいることは反映させてよいと思っている。	志村委員
7	現状に限界があるので書けない部分もあるのではないかと。施策のあり方の23ページには「地域力向上による地域福祉の充実」に触れているが、内容を見ると現在でもがんばっている主体の人数が足りず、そこに今後負担がかかるのかという印象がある。例えば、新たにシニア世代の協力が必要であるなど、表現の限界はあると思うが、20年後に向けた具体的な展望がもう少し踏み込んで記述されている必要があると思う。	緒方委員
8	施策のあり方の9ページの1行目に「コミュニティスクール」に触れているがこれはかなり重い言葉である。江東区ではコミュニティスクールを位置づけるのかどうか、指導室長や教育委員会などに確認したほうがよいと思う。	小川委員

9	<p>教育に関する部分は教育委員会の独立性を踏まえると施策のあり方では記載しにくいという考え方もあるが、記載してしまえばそれで進んでしまう面もある。</p> <p>今後、学習指導要領も変わっていくので、審議会委員が教育について議論したいというのはよくわかる。</p>	青山委員長
---	---	-------